

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月21日更新

事務事業名		国民健康保険税課税事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	市民部
	施策	15	健康づくりの推進		所属課	税務課
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営		所属班	市税班
課長名		中山 輝一郎		担当者名		衛藤 美由紀
予算科目		会計	款	項	目	事業連番
国保		1	2	1	10392	他
地方税法、合志市国民健康保険税条例		法令根拠		成果優先度評価結果 : ②		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)
コスト削減優先度評価結果 : ①						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	国民健康保険加入世帯主に対し、地方税法、合志市国民健康保険税条例に基づき国民健康保険税を課税する事務である。昭和36年の国民健康保険法施行による。国の医療制度の改正に伴い保険制度が複雑化している。 本市の国保運営の基金状況を見ると、来年度から税率改正をする必要がでてきたため、国保運営協議会への諮問が行われ、平成24年3月定例会で条例改正が可決、税率を改定することとなった。 平成23年度国民健康保険税率 ①所得割 (医療給付費分) 7.7% (高齢者支援金分) 2.3% (介護給付費分) 1.7% ②均等割額 (1人当たり) (") 23,400円 (") 6,600円 (") 6,000円 ③平等割額 (1世帯当たり) (") 24,300円 (") 6,700円 (") 6,000円 ・限度額を(医療給付費分)51万円、(高齢者支援金分)14万円、(介護給付費分)12万円に引き上げた。 ・平成24年度から納付書をブック方式(8期一括)で送付するため、システム改修等準備を行った。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	当初課税処理、納税通知書発送、督促状の発送、月例処理、随時更正処理、還付処理、特別徴収処理
【主な予算費目】	需用費〔消耗品費、印刷製本費(封筒印刷等)〕、役務費(切手代)、委託料、償還金利息及び割引料
【意見や要望】	議会からは、税率改定による負担増について、出来る限りの抑制についての意見が寄せられる。 納税義務者から税額の高さについての苦情、また、資格担当課(健康づくり推進課)、後期高齢者保険・介護保険(高齢者支援課)それぞれに分かれているため、電話転送等に対する苦情もある。 他の市税と同様、納期を増やす、コンビニ収納の要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
課税計算、納税通知書の送付、毎月の異動課税処理、課税更正通知書の発送、督促状の発送、還付処理、特別徴収処理、随時更正処理、ブック方式へのシステム改修	課税計算、納税通知書の送付、毎月の異動課税処理、課税更正通知書の発送、督促状の発送、還付処理、特別徴収処理、随時更正処理
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 調定額	千円 納付書発送形態(期毎→一括)変更による役務費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
国民健康保険納税義務者	(単位) ア 国民健康保険加入世帯数 世帯
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正課税	(単位) ア 課税誤りにより更正した件数 件
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
課税誤りゼロを目標に目標値0に設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
① 活動指標	ア	千円	1,246,190	1,189,812	1,281,000	1,202,077	1,130,000	1,130,000	1,130,000	1,130,000
	イ									
	ア	世帯	7,350	7,365	7,200	7,485	7,300	7,300	7,300	7,300
② 対象指標	イ									
	ア	件	0	13	0	0	0	0	0	0
③ 成果指標	イ									
	ア									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	3,287						
		繰入金	千円		3,649	6,495	5,375	2,886	2,886	2,886
	一般財源	千円	461							
	(A) 事業費計	千円	3,748	3,649	6,495	5,375	2,886	2,886	2,886	2,886
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	5	2	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	2,300	2,230	2,300	2,470	2,400	2,400	2,400	2,400	
(B)人件費計	千円	9,154	9,187	9,476	9,973	9,888	9,888	9,888	9,888	
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,902	12,836	15,971	15,348	12,774	12,774	12,774	12,774	

事務事業名	国民健康保険税課税事務	所属部	市民部	所属課	税務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 課税誤りが無いように努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 資格取得・喪失ともに届出に基き適正課税に努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市の固有事務であり他事業との統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限のコストで事務処理しており、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 年金からの特別徴収の開始、口座振替選択制の開始、後期高齢者医療制度に伴う特例措置の対応など事務量は増加する一方であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国民健康保険加入者に対して、条例に定める税率により課税している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 世帯の所得(個人情報)により事務事業を行っており、他への移行は困難である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>資格取得・喪失ともに届出に基づき適正課税に努める。 効率性については、最小限のコストで事務処理を行っており、削減余地はない。また、人件費においては制度内容が変わるたびに事務量が增加しており最少人数で対応しているためこれ以上の削減はできない。 公平性については条例に定める税率により公平な課税を行っており、事業内容から職員での対応が必要なため、他への移行は困難であり、行政の役割分担は適正である。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						